



特定非営利活動法人 アイユーゴー通信 第 32 号

〒590-0452 大阪府泉南郡熊取町山の手台 1-22-10

TEL / FAX: 072-452-5680

メールアドレス: snittaskmj0715@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://aiyugo.org/>

目 次

はじめに

- 1 2020(令和 2)年度海外事業報告
- 2 2020(令和 2)年度国内事業報告
- 3 2020(令和 2)年度事業収支決算報告
- 4 2021(令和 3)年度事業計画
- 5 活動写真(話している人の声が聞こえますか)
- 6 後記(みなさまの声)



は じ め に

いつもアイユーゴーの活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。
皆様におかれましては、たとえウイルス危機の中であっても、ますますご健勝であることを願っています。

理事長 新田幸夫

さて、ここに 2020 年度の国内外の事業報告と 2021 年度の活動計画をお伝えします。
海外の活動はマダガスカルで図書館を建設することと、植樹をすることでした。まずは、マダガスカルでの図書館の建設状況(10 月～翌年 1 月)を見ていただくことにします。



一方、日本では、ZOOM 飲み会(アイユーゴー・ミーティング・バー:略して AMB)を実施しました。回を重ねるうちに、マダガスカルの人々が自然を保護しようとすることに協力するプロジェクトを立ち上げるようになりました。

「不要不急の外出を禁ずる」と、「緊急事態宣言」。すでに 500 日以上、想いのまま動けない状況。家族や友人と密に語りあえない。密閉の中で食事をとらない。食べていないときはマスクを。話すときはマスクを。そして小さな声で。自分の居場所をウイルスに気づかれないように、と。

まるで、地球は人間が中心ではなく、ウイルスが主人公のようです。ウイルスは姿を変え、性質を変え、世界中で自在に人間を攻め続けています。ウイルスは決してこの世から去るわけではないのです。地球の主人公だから。

一昔前は、地球は人間が中心。地球上の自然は人間のためにある。人間のためだから自然を大切に、と言って、自然環境の保全活動を繰り返してきました。現在も続けています。今、ウイルスの話題が中心に世の中は回っているようですが、私たちが自然と共存するために自然を保護・再生しようとすることは、グローバル規模において、ウイルスとの共存をどのように進めていくべきかを明確に問い、指針を出して対応する時期が来ているように思われます。

1 2020(令和2)年度海外事業報告

今年度は、コロナ禍の中、現地に入りませんでした。

1) 環境保全事業

<④自然環境の再生を図る事業>

- ・事業地：マダガスカル・マンゴロ県
- ・助成団体：国土緑化推進機構
- ・助成金：1,716,000 円
- ・事業内容：マダガスカルの自然再生（植林活動）

2) 図書館建設事業

<③途上国における教育水準の向上に必要な事業>

- ・事業地：マダガスカル共和国アナラマンガ地方フィハオナナ村
- ・助成団体：ひろしま祈りの石国際教育交流財団
- ・助成金：1,482,000 円
- ・事業内容：図書館建設

3) 経済活動の活性化を図る活動（継続事業に）

<①途上国の経済的自立に必要な事業>

- ・事業地：マダガスカル共和国アナラマンガ地方フィハオナナ村
- ・助成団体：（交渉予定）JICA関西（草の根技術協力事業）
- ・事業内容：シナモンの葉からシナモンオイルを生産してフィハオナナの住民の生活向上を図る事業

4) 人材育成事業（継続事業に）

<⑥途上国の人たちの相互交流により国際社会に通ずるリーダーを育成するために必要な事業>

- ・事業地：タイ王国
- ・助成団体：三菱UFJ国際財団
- ・助成金額：500,000 円（不受）
- ・事業内容：「少数民族とともに国際社会を考えるセミナー」

*助成金辞退

2020 年 1 月 30 日に、本事業の申請書を三菱UFJ 国際財団に提出し、5 月 25 日給付決定の知らせを受けました。助成交付金は 500,000 円でありました。しかし、コロナウイルス感染の第 2 波等の危険性ならびに渡航・入国制限等でタイ王国での実施は不可能だと判断し、6 月 9 日に三菱UFJ 国際財団に辞退を申し出ました。三菱UFJ 国際財団様からは、コロナ禍の状況から真摯に事態を受け取られ、次年度も申請されるようにとの返答を受けました。

5) 古着の寄贈事業（継続事業に）

- ・事業地：マダガスカル共和国
- ・事業内容：アンボヒダバの子供たちへの古着の寄贈（T-シャツ）
- ・寄贈者：NPO 法人ホームビジットとんとん 森崎 シヅ子様

*コロナ禍にあつて、マダガスカルは海外からの受け入れを拒絶していたため、森崎シヅ子様に古着の協力要請をしませんでした。

2 2020(令和2)年度国内事業報告

今年は、3密（密閉・密集・密接）回避という極めて社会性に欠ける活動・生活が「善し」とされてきました。それにともない、アイユーゴーの国内での活動は、書面をもって、恒例の会議である 2020(令和2)年度総会、9 月度理事会、12 月度理事会を行いました。

やはり、人間は動く、自然に集まる、協力し合う、そして何かをするのです。我々の役員からオンラインで「飲み会」をしようと呼びかけがありました。一人が動くと、集まりました。オンラインでの飲み会をしました。アイユーゴー・ミーティング・バー（Aiyugo Meeting Bar: AMB）と名付けて、第 1 回の AMB を実施しました。その内容を紹介します。

2020.5.16 Aiyugo Meeting Bar 「Zoom 飲み会」

1) 参加者：岩見(大阪府・熊取町)、加藤(愛知県)、河地(岐阜県)、久保(大阪府・泉佐野市)、塚田(浜松市)、中西(岡山県・鏡野町)、新田幸夫 2) 進行：①開会宣言 ②乾杯 ③それぞれ飲み物の紹介（ビール、焼酎、日本酒、スコッチウイスキーの最高品（6,7 万円）等）④フリートーク：新田よりマダガスカルの事業について少々紹介（次回からさまざまなテーマで）

AMB が始まると、その実施のための打ち合わせを行いました。熊取会議です。本拠地（熊取町）に在住する役員、（岩見、久保、Pat、新田）が参加しました。当初は、熊取会議を金曜日に、AMB を暫定的に毎月第 4 土曜日 19 時から行うことにしました。それ以降、予定の日時は参加者に伺いながら、5 月から翌年 3 月まで、14 回行いました。



<2021 年 4 月 28 日の AMB(アイユーゴー・ミーティング・バー)の参加者>

テーマは、「通信第 32 号に載せる記事について」から「Aiyugo Meeting Bar (Zoom 飲み会)について」さらに、「国連の「SDGs に関して」と、思いつきで進みました。

すると、「アイユーゴーの活動目標、組織としての活動強化」、「未来の世界の格差社会」、「新型コロナウイルスの世界的な感染を危機（コロナ危機）と捉え、今後 Aiyugo としてどのような支援、対策をしていくのか」と少し重くなりました。

さらに、「SDGs の目標の中で環境に関する項目について」、「あなたがアイユーゴーの事業地のどこかに行かれ、村の人たちから日本のことについて話すように頼まれた場合、あなたはどのようなことを伝えたいですか」などを、扱いにくいテーマと思われる内容をフリートークの形で行いました。

やがて、「コロナ禍の中で、今できることについて」が持ち

上がった時に、マダガスカルから求められたプロジェクト「Bird school as a gateway to environmental education」を紹介すると、実施に向けた準備を議論するようになりました。

議論の結果、今では、協力するために、マダガスカルの鳥のデザイン入り T-shirt を作るまでたどり着きました。

マダガスカルの仲間たちは、次の世代の子供たちに鳥の生態状況を紹介し、鳥にとって環境がどれほど大切であるかを教えるようとしています。

私たちは、T-shirt を作ることで、その活動に協力したいと思います。

ともにマダガスカルの仲間たちに協力しませんか。お願いします。



旅費交通費	5,840		
宿泊費	6,600		
協力費	3,500		
通信費	19,734		
事務費	36,762		
雑費	9,600		
		82,036	
経常支出合計			3,308,036
経常収支差額			332,430
Ⅲその他資金収入の部			
1 受取利息			
普通預金利息	4	4	
2 その他の事業会計から繰入			
その他資金収入合計			4
Ⅳその他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			332,434
前期繰越収支差額			-397,614
次期繰越収支差額			-65,180

3 2020(令和 2) 年度事業収支決算報告

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

科 目	金 額 (単位：円)		
Ⅰ収入の部			
1 会費収入			
正会員	333,000		
賛助会員	38,000		
		371,000	
2 募金・寄付金収入			
一般寄付	71,466	71,466	
3 自主事業収入			
	0	0	
4 助成金収入			
ひろしま祈りの石	1,482,000		
国土緑化推進機構	1,716,000		
		3,198,000	
5 雑収入			
	0	0	
経常収入合計			3,640,466
Ⅱ支出の部			
1 事業費			
資機材費	3,012,000		
資材運搬費	74,000		
現地移動費	99,000		
専門家費用	33,000		
現地管理費	8,000		
		3,226,000	
2 管理費			

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

Ⅰ資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
三井住友銀行	3,438		
新ゆうちょ銀行	2,469		
貯金事務センター	828		
未収入金	0		
		6,735	
2 固定資産			
電話加入権	0		
固定資産合計		0	
資産合計 (A)			6,735
Ⅱ負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	30,915		
未払金	41,000		
流動負債合計		71,915	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			71,915
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		-397,614	
当期正味財産増加額		332,434	
正味財産合計 (C)		-65,180	-65,180
負債及び正味財産合計 (B) + (C)			6,735

4 2021 (令和 3) 年度事業計画

1) 環境保全事業 <④自然環境の再生を図る事業>

事業地：マダガスカル・マンゴロ県

助成団体：国土緑化推進機構

助成金：申請中

事業内容：マダガスカルの自然再生（植林活動）

2) 小学校建設事業

<③途上国における教育水準の向上に必要な事業>

事業地：マダガスカル共和国アナラマンガ地方

助成団体：ひろしま祈りの石国際教育交流財団

助成金：1,175,000 円（決定）

事業内容：小学校建設

3) 経済活動の活性化を図る事業（継続事業）

<①途上国の経済的自立に必要な事業>

事業地：マダガスカル共和国アナラマンガ地方

助成団体：（交渉予定）JICA 関西

事業内容：シナモンの葉からシナモンオイルを生産して住民の生活向上を図る事業

4) 人材育成事業

<⑥途上国の人たちとの相互交流により国際社会に通ずるリーダーを育成するために必要な事業>

事業地：タイ王国チェンマイ近郊

助成団体：三菱 UFJ 国際財団

助成金額：500,000 円（決定）

事業内容：少数民族と国際社会を考えるセミナー

5) 古着の寄贈事業

事業地：マダガスカル共和国

事業内容：アンボヒダバの子供たちへの古着の寄贈

寄贈者：NPO 法人ホームビジットとんとん

森崎 シヅ子様

6) 環境保全事業 <④自然環境の再生を図る事業>

事業地：日本国内

目標金額：640,000 円（予定）

事業内容：日本において T-シャツの製造を通してマダガスカルの鳥を保護する活動

5 活動写真（話している人の声が聞こえますか）

<マダガスカルでの図書館建設の現場で>



<マダガスカルでの植栽の現場で>



写真は静止画です。現場にいと声が飛び交います。言語は日本語と全く異なります。しかし、同じ活動をしているならば、話の内容は私たちとほとんど変わりません。写真を見て、どんな声が聞こえますか。

6 後記（みなさまの声）

理事会・総会は書面で行いました。承認の是非の返信に、次のようなお言葉がありました。心より感謝いたします。

- ・古着(T-シャツ)等のこと、もっと詳しく知りたいです。
- ・蔵書はどのように確保するのでしょうか。日本から寄贈できるのでしょうか。
- ・本の寄贈... フランス語の本が良いのですか、英語は？
- ・人材育成においていろんなジャンルで育成していくことが育成の向上につながる... のでは？
- ・現地の事業に参加しやすい方法を検討(したい)
- ・経済活動の活性化：食糧自給ができれば教育が進む！

<振込先>

特定非営利活動法人アイユーゴー 理事長 新田幸夫

・三井住友銀行 阿倍野支店 : 7, 479, 470

・ゆうちょ銀行 : 00930-9-144252

発行者：新田幸夫 印刷：(株) フジカク